



北九州市の目指す姿

我が国とアジア諸国が直面する少子高齢化の様々な課題に挑戦し、課題解決策を国内外に発信するとともに、アジアとともに成長する街をめざす

北九州市の強み=ものづくり・高齢化対応+アジア諸都市との繋がり

先進的介護・高齢者活躍拠点

「先進的介護」の実証実装

- テクノロジー（ロボット・ICT等）の活用により
介護職員にやさしい職場環境づくり
- 介護ロボット開発拠点の形成 など

高齢者等の活躍の場の拡大

- アシストツールなどの活用
- シニア・ハローワークの設置
- 産業の歴史、地域の文化などの
知識・経験の活用 など

創業・雇用創出拠点

- シニア・ハローワークの設置（再掲）
- 産学官の連携によるスタートアップ拠点
の形成（人材移動の柔軟化）
- 企業・大学等の技術者・研究者が集結
する頭脳拠点の形成
- アジアの高度人材育成拠点 など

国内外の交流・インバウンド拠点

- 歴史的建築物等のリノベーションや、民間の未利用施設を活用することにより
多様な外国人観光客・ビジネスマン等のニーズに対応

「北九州市スマートシティ創造特区（地方創生特区）」の追加提案 ～北九州市のポテンシャル～

様々な滞在ニーズに対応した宿泊施設

タンガテーブル



リトルアジア



外国人向けの滞在施設の充実

豊富な観光資源

門司港レトロ地区



旧JR九州本社ビル



観光地での歴史的建築物を活用

起業家が集う豊富なオープンスペース

fabbit (ファビット)



秘密基地



MIKAGE1881



グローバルベンチャーを育成するスタートアップ拠点の形成

「北九州市スマートシティ創造特区（地方創生特区）」の追加提案



本市のポテンシャルを最大限に発揮し、取組みをさらに推進するために
国家戦略特区法の規制改革メニューを積極的に活用。



プロジェクト① 国内外の交流・インバウンド拠点の形成

本市は旅行の予算や滞在期間、趣味、関心事が多種多様な外国人の個人旅行客が多く訪れており、その他にも環境関連産業における海外からの研究者やビジネスマン等も滞在していることから、様々な宿泊者のニーズにきめ細かく対応できるようにするため、旅館業法の特例を活用。

さらには、本市の代表的な観光スポットである門司港レトロ地区には、宿泊施設として活用可能な歴史的建築物があり、多様な宿泊ニーズへの対応が可能。

活用する規制改革メニュー

- ・ 滞在施設の旅館業法の適用除外
- ・ 歴史的建築物に関する旅館業法の特例



プロジェクト② グローバルベンチャーを育成するスタートアップ拠点の形成

本市は平成26年4月に市内外の起業家が集うオープンスペースを保有した文化創造拠点「fabbit（ファビット）」を開設。このfabbitでは定期的に官民の交流が図られているほか、貸しオフィスやスタートアップのための起業相談業務等の場を提供。

本市においては、fabbitを核として官民のマッチング機能を発揮することが十分可能であり、この特例を活用することによって、グローバルベンチャーを育成するスタートアップ拠点の形成を加速させることが可能。

活用する規制改革メニュー

- ・ 官民の垣根を越えた人材移動の柔軟化の特例

